

# 岡山県感染症週報 2018年 第1週 (1月1日～1月7日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

## ◆2018年 第1週 (1/1～1/7) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第52週	2類感染症	結核	1名 (20代 女)
	4類感染症	レジオネラ症	1名 (50代 男)
	5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1名 (70代 男)
第1週	2類感染症	結核	2名 (乳児 男 1名、70代 男 1名)
	4類感染症	レジオネラ症	1名 (70代 女)
	5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1名 (50代 男)
		侵襲性肺炎球菌感染症	1名 (70代 女)

### ■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

- インフルエンザは、県全体で 1,896 名 (定点あたり 27.21 → 22.57 人) の報告があり、前週より減少しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 309 名 (定点あたり 8.44 → 5.72 人) の報告があり、前週より減少しました。

### 【第2週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 3 施設でありました。(1月11日～12日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で 1,896 名 (定点あたり 27.21 → 22.57 人) の報告があり、前週より減少しました。岡山県は、12月7日に「**インフルエンザ注意報**」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市 (40.81 人)、真庭地域 (35.00 人)、備中地域 (25.75 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など、詳しくは「**インフルエンザ週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2017/2018年 シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!](#)』をご覧ください。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で 309 名 (定点あたり 8.44 → 5.72 人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、倉敷市・備前地域・美作地域 (各 7.00 人) で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など詳しくは、「**感染性胃腸炎週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2017/2018年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

### 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★	ヘルパンギーナ		
流行性耳下腺炎		★	急性出血性結膜炎		★
流行性角結膜炎		★	細菌性髄膜炎		
無菌性髄膜炎			マイコプラズマ肺炎		
クラミジア肺炎			感染性胃腸炎(ロタウイルス)		

【記号の説明】 前週からの推移： ：大幅な増加 ：増加 ：ほぼ増減なし ：大幅な減少 ：減少  
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)

空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

## インフルエンザ週報 2018年 第1週 (1月1日～1月7日)

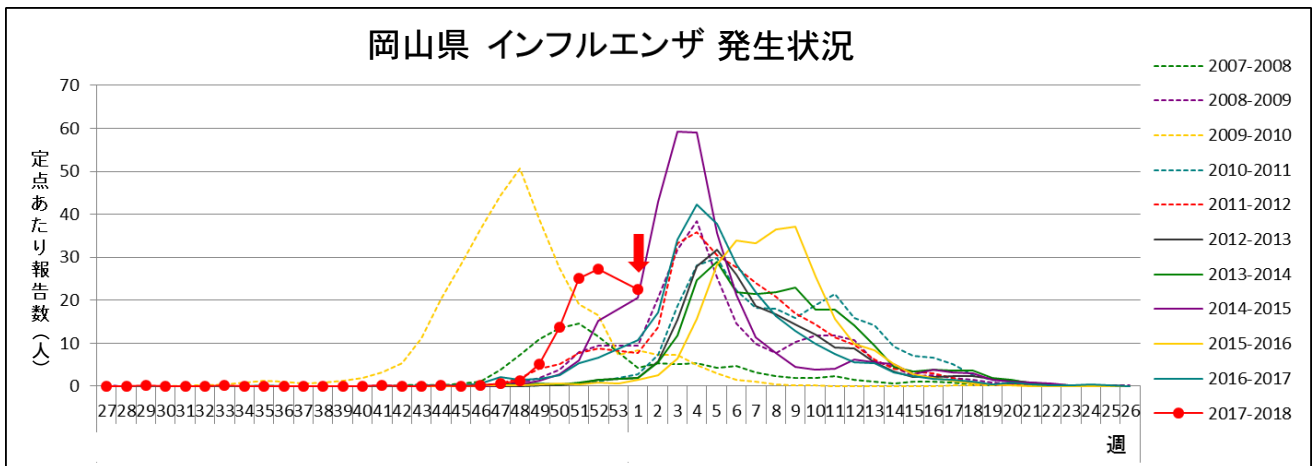
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で1,896名(定点あたり22.57人)の報告がありました。(84定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者33名の報告がありました。

## 【第2週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が3施設でありました。(1月11日～12日)



インフルエンザは、県全体で1,896名(定点あたり27.21 → 22.57人)の報告があり、前週より減少しました。岡山県では、12月7日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市(40.81人)、真庭地域(35.00人)、備中地域(25.75人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。倉敷市、備中地域に加えて、新たに真庭地域が発生レベル3となりました。また、岡山市(10.77人)、備前地域(19.33人)、備北地域(14.17人)及び美作地域(21.70人)では、発生レベル2が継続しており、全ての地域が発生レベル2以上となっています。

新学期が始まり、第2週(1/8～)には、学校等の臨時休業が報告されています。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

## ◆インフルエンザは流行期に入っています。 感染予防に努めましょう。

## 【 予 防 】

- \* 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- \* 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- \* 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- \* 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

## 【 かかったかな? という時には 】

- \* 早めに医療機関を受診しましょう。
- \* 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- \* 周りの人にうつさないように、[『咳エチケット』](#)を心がけましょう。

1. 地域別発生状況  
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,896	▲	備 中	患者数	309	▲
	定点あたり	22.57			定点あたり	25.75	
岡山市	患者数	237	▶	備 北	患者数	85	▶
	定点あたり	10.77			定点あたり	14.17	
倉敷市	患者数	653	▲	真 庭	患者数	105	▶
	定点あたり	40.81			定点あたり	35.00	
備 前	患者数	290	▶	美 作	患者数	217	▶
	定点あたり	19.33			定点あたり	21.70	

【記号の説明】 前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▶：増加 →：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ↓：減少  
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

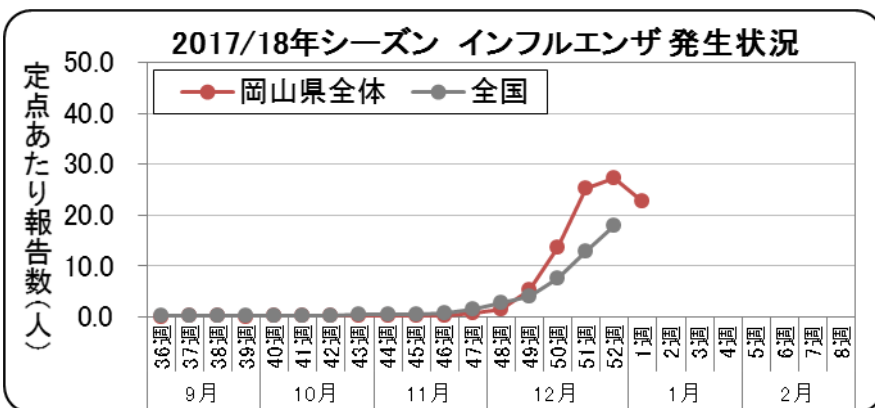
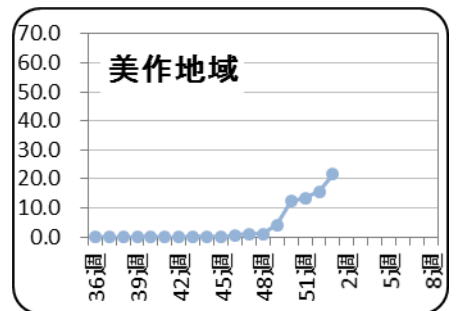
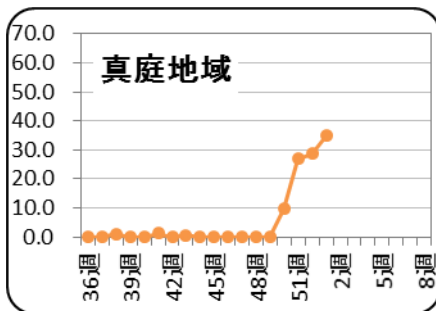
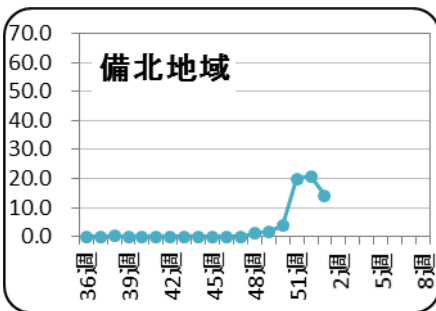
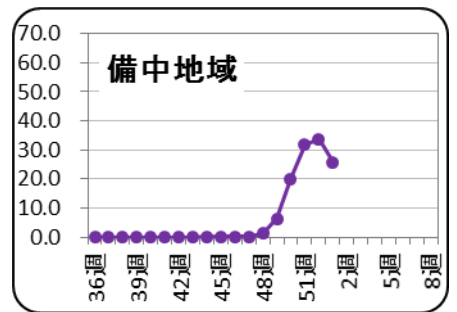
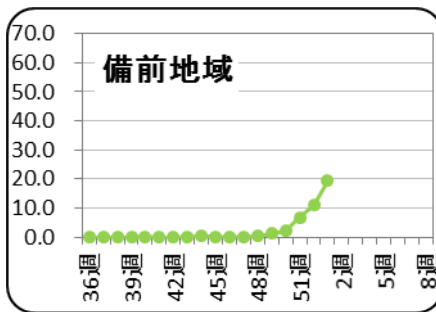
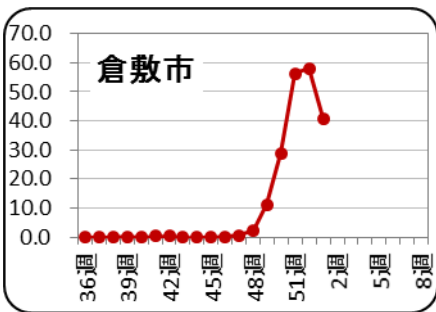
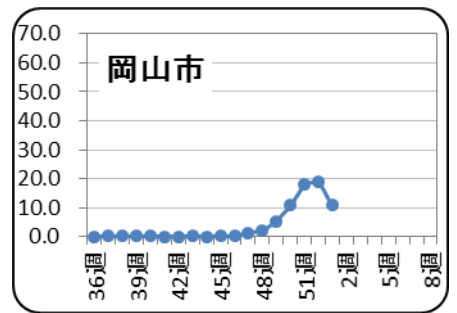


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

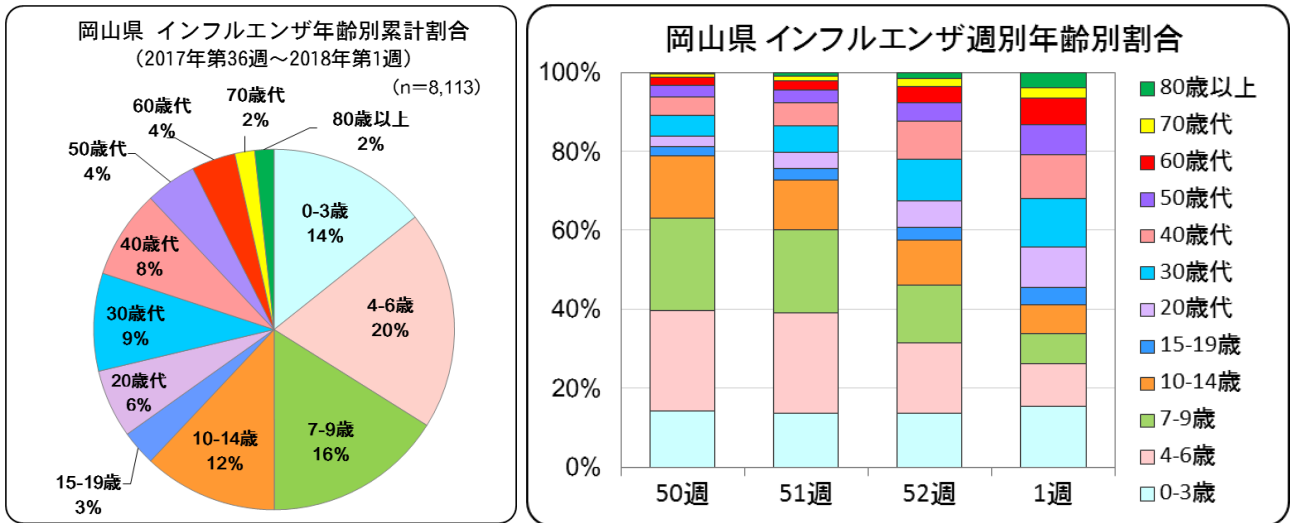


全国集計第52週（12/25～12/31）速報値によると、全国の定点あたり報告数は17.88人となり、前週（12.87人）より増加しました。都道府県別では、宮崎県（45.14人）、大分県（35.12人）、長崎県（30.51人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、全都道府県で前週の報告数よりも増加がみられました。

[インフルエンザの発生状況について](#)  
[\(厚生労働省\)](#)

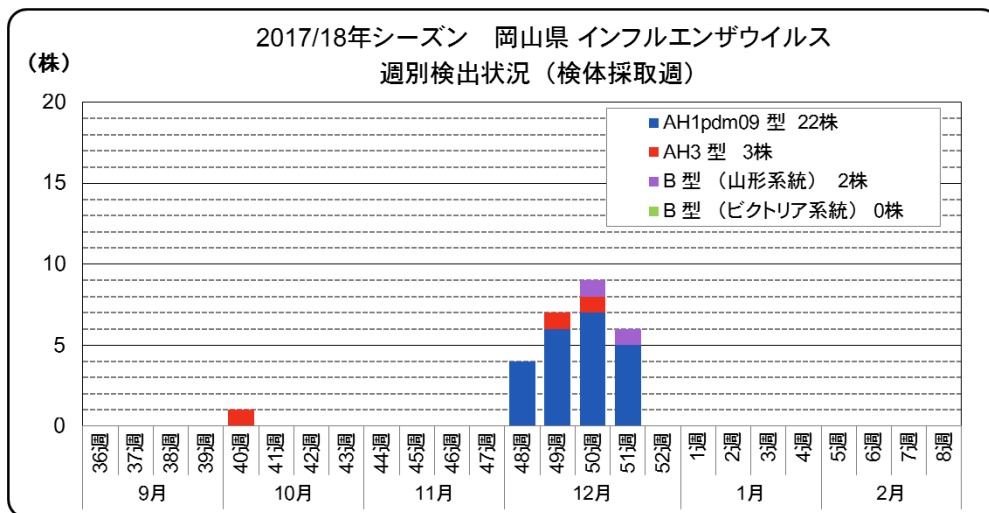
## 2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 20%、7-9歳 16%、0-3歳 14%の順で高くなっています。週別年齢別割合をみると、多くの学校等が冬期休暇であったことが影響したためか、20歳以上の成人の割合が前週より増加しています。

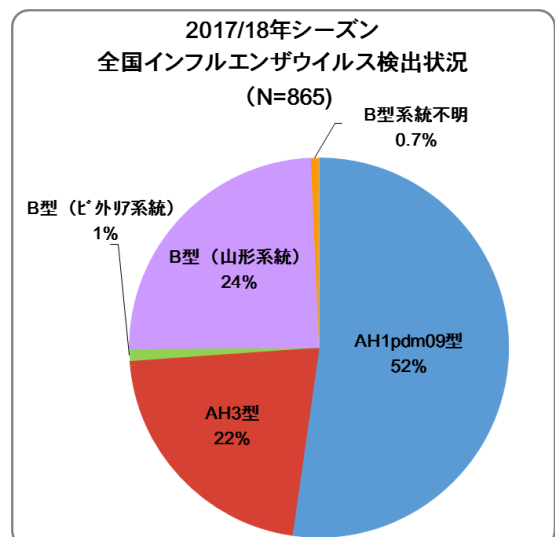


## 3. インフルエンザウイルス検出状況

第1週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは27株で、その内訳は、AH1pdm09型22株、AH3型3株、B型（山形系統）2株となっています。

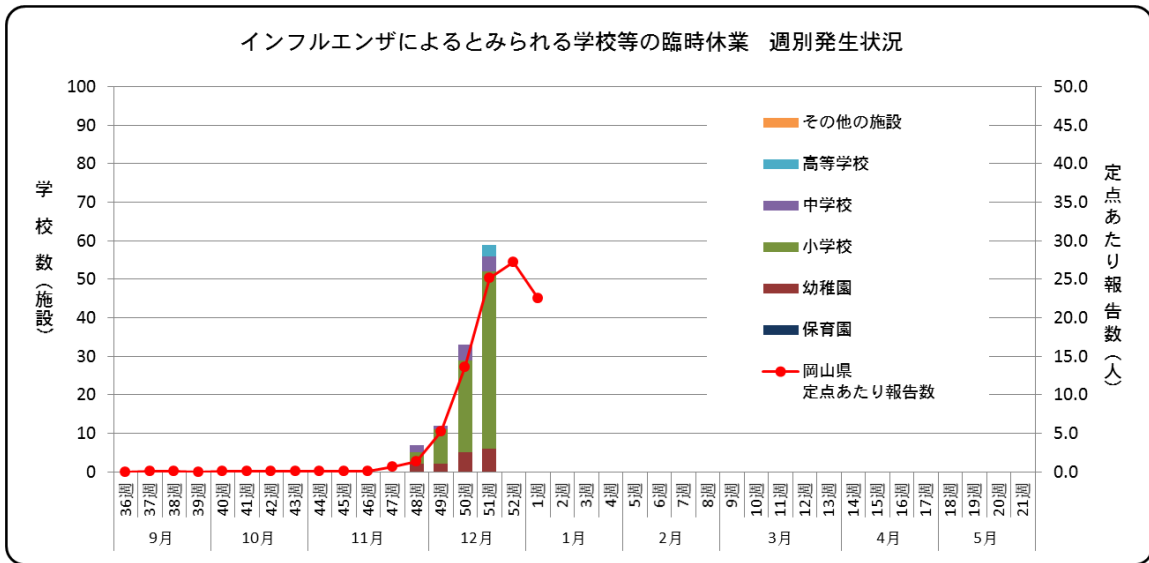


今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 52%、AH3型 22%、B型 25.7%〔山形系統 24%・ビクトリア系統 1%・系統不明 0.7%〕となっています。(12月27日現在)



#### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。



##### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	1782	0	1480	0	111	0	3	0	23	0	85	H29.11.27
岡山市	0	363	0	267	0	23	—	—	0	2	0	21	H29.11.27
倉敷市	0	831	0	705	0	44	—	—	0	3	0	41	H29.11.27
備前地域	0	53	0	46	0	5	0	1	0	1	0	3	H29.12.13
備中地域	0	302	0	265	0	22	0	1	0	6	0	15	H29.12.5
備北地域	0	40	0	38	0	4	—	—	0	3	0	1	H29.12.4
真庭地域	0	35	0	31	0	2	—	—	0	2	—	—	H29.12.18
美作地域	0	158	0	128	0	11	0	1	0	6	0	4	H29.12.4

##### 2) 臨時休業施設数の内訳

第1週：0施設

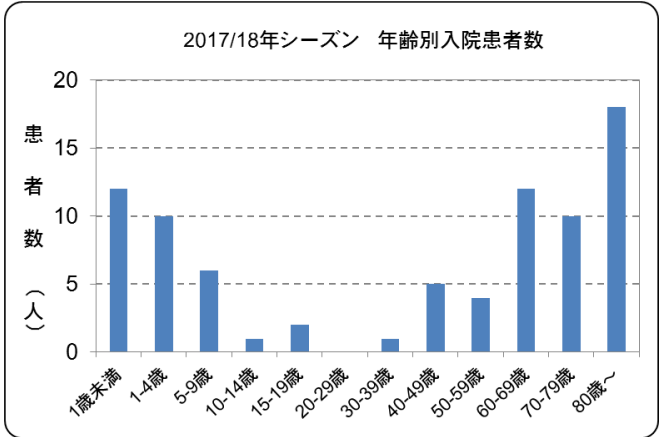
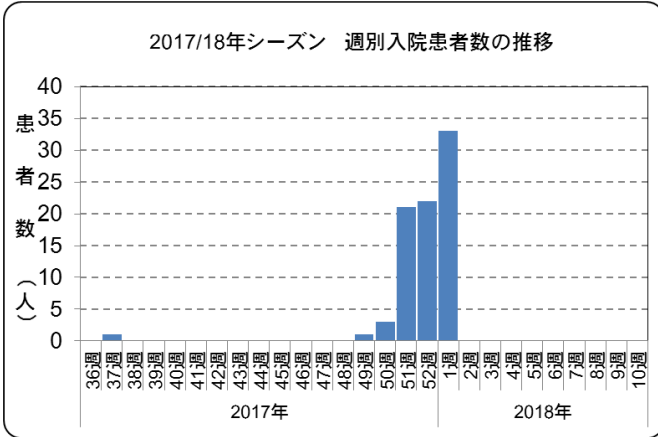
累計：111施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	15	0	82	0	11	0	3	—	—

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、33 名（1 歳未満 4 名、1-4 歳 3 名、5-9 歳 1 名、15-19 歳 2 名、40-49 歳 3 名、50-59 歳 2 名、60-69 歳 7 名、70-79 歳 5 名、80 歳以上 6 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 1 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	4	3	1		2			3	2	7	5	6	33
ICU 入室 *										1	1		2
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *										2		1	3
頭部 MRI 検査(予定含) *		1											1
脳波検査 (予定含) *		2											2
いずれにも該当せず	4	1	1		2			3	2	5	4	5	27

\* 重複あり

【2017 年 9 月 4 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	12	10	6	1	2		1	5	4	12	10	18	81
ICU 入室 *		1								2	3		6
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *	1	3					1			3	1	3	12
頭部 MRI 検査(予定含) *	1	3	1				1			1		1	8
脳波検査 (予定含) *		3											3
いずれにも該当せず	10	5	5	1	2			5	4	9	7	15	63

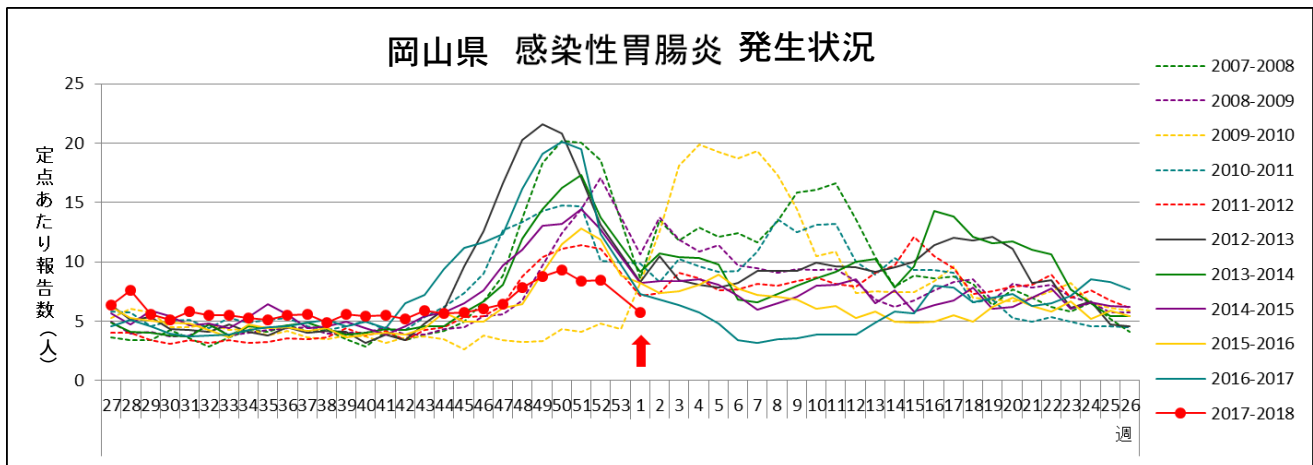
\* 重複あり



# 感染性胃腸炎週報 2018年 第1週 (1月1日～1月7日)

## ➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で309名(定点あたり5.72人)の報告がありました。(54定点医療機関報告)

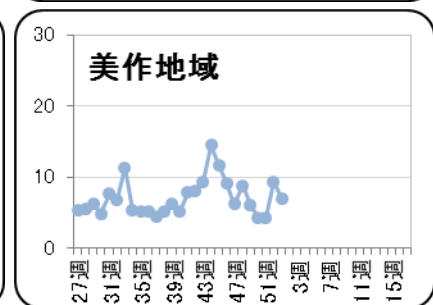
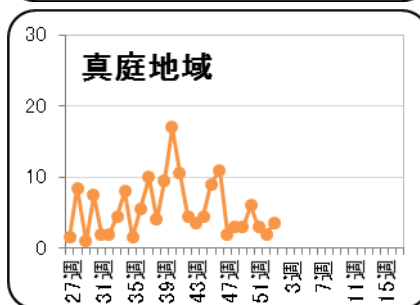
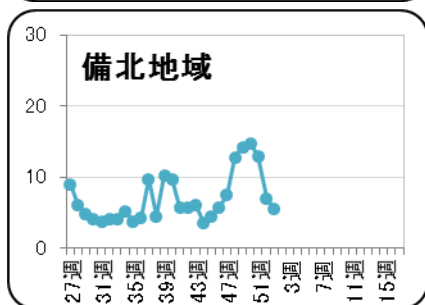
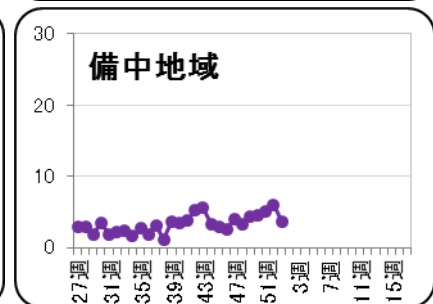
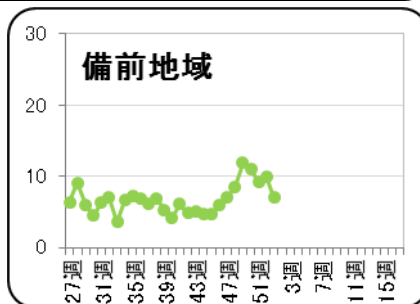
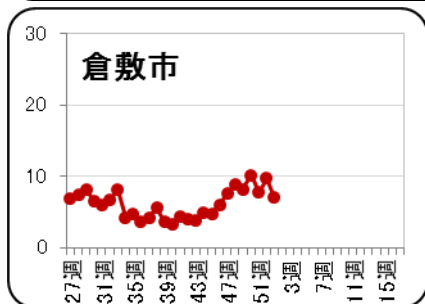
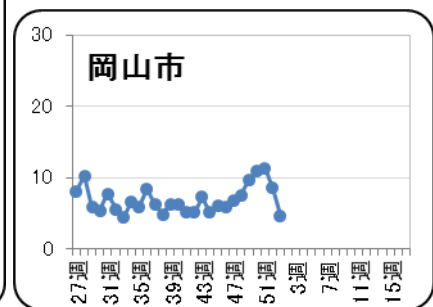
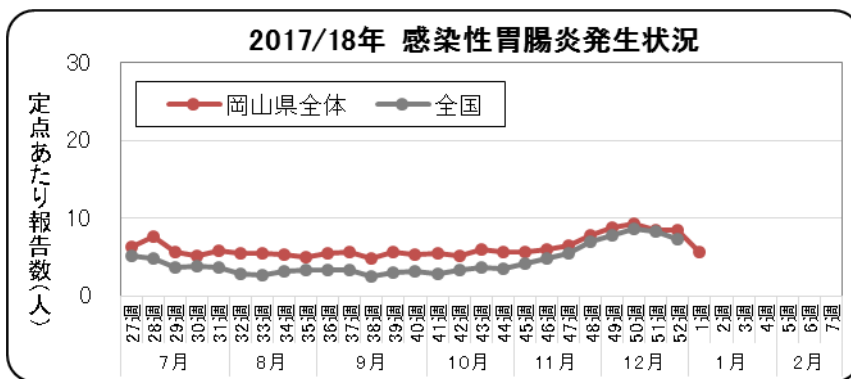


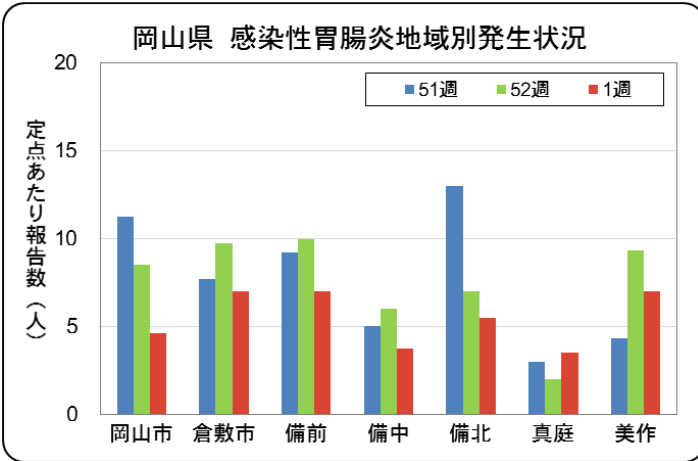
※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週で、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で309名(定点あたり8.44 → 5.72人)の報告があり、前週より減少しました。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。また、小さなお子さんや高齢の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

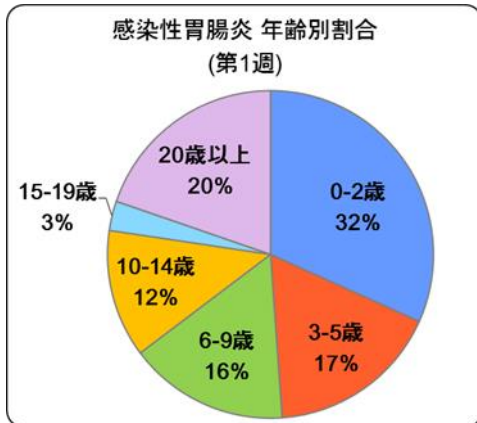
## ◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、倉敷市・備前地域・美作地域（各 7.00 人）で定点あたり報告数が多くなっています。多くの地域で患者の減少がみられましたが、真庭地域では増加しています。

第1週年齢別割合では、0-2歳 32%、20歳以上 20%、3-5歳 17%の順で高くなっています。

## ◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

### 予 防 方 法

#### 1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

#### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。

拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

#### 3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水洗濯が**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水が利用可能である洗濯機があれば熱水洗濯、または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

#### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。

[○ノロウイルスに関する Q&A（厚生労働省）](#)

[○ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所）](#)

[○ノロウイルス食中毒予防対策リーフレット（厚生労働省）](#)

[○ノロウイルス食中毒予防のための適切な手洗い（動画）（厚生労働省）](#)



保健所別報告患者数 2018年 1週(定点把握)

( 2018/01/01～2018/01/07 )

2018年1月12日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1896	22.57	237	10.77	653	40.81	290	19.33	309	25.75	85	14.17	105	35.00	217	21.70
RSウイルス感染症	14	0.26	4	0.29	4	0.36	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
咽頭結膜熱	10	0.19	2	0.14	2	0.18	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	0.87	25	1.79	10	0.91	6	0.60	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	309	5.72	65	4.64	77	7.00	70	7.00	26	3.71	22	5.50	7	3.50	42	7.00
水痘	20	0.37	5	0.36	7	0.64	6	0.60	-	-	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	7	0.13	2	0.14	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	1	0.50	2	0.33
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
突発性発疹	19	0.35	15	1.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	2	0.33
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	0.11	2	0.14	3	0.27	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2	0.17	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	4	0.80	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2018年1週(発生レベル設定疾患)

(2018/01/01~2018/01/07)

2018年1月12日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1896	22.57	237	10.77	653	40.81	290	19.33	309	25.75	85	14.17	105	35.00	217	21.70
咽頭結膜熱	10	0.19	2	0.14	2	0.18	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	0.87	25	1.79	10	0.91	6	0.60	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	309	5.72	65	4.64	77	7.00	70	7.00	26	3.71	22	5.50	7	3.50	42	7.00
水痘	20	0.37	5	0.36	7	0.64	6	0.60	-	-	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	7	0.13	2	0.14	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	1	0.50	2	0.33
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	0.11	2	0.14	3	0.27	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2	0.17	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	4	0.80	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3  
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2  
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2018年 第1週 2018/01/01~2018/01/07 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	1896	12	38	87	81	74	66	77	65	54	42	46	139	83	195	230	212	146	126	50	73

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	14	6	3	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	10	-	1	4	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	-	1	2	5	6	4	4	4	6	2	-	10	-	3
感染性胃腸炎	309	5	22	45	26	26	18	9	19	8	11	11	39	9	61
水痘	20	-	-	1	2	1	1	5	4	1	3	-	-	-	2
手足口病	7	-	-	-	3	1	-	2	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	19	-	6	11	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	1	-	-	-	2	2	-	1	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	2	1	-	-	-	-

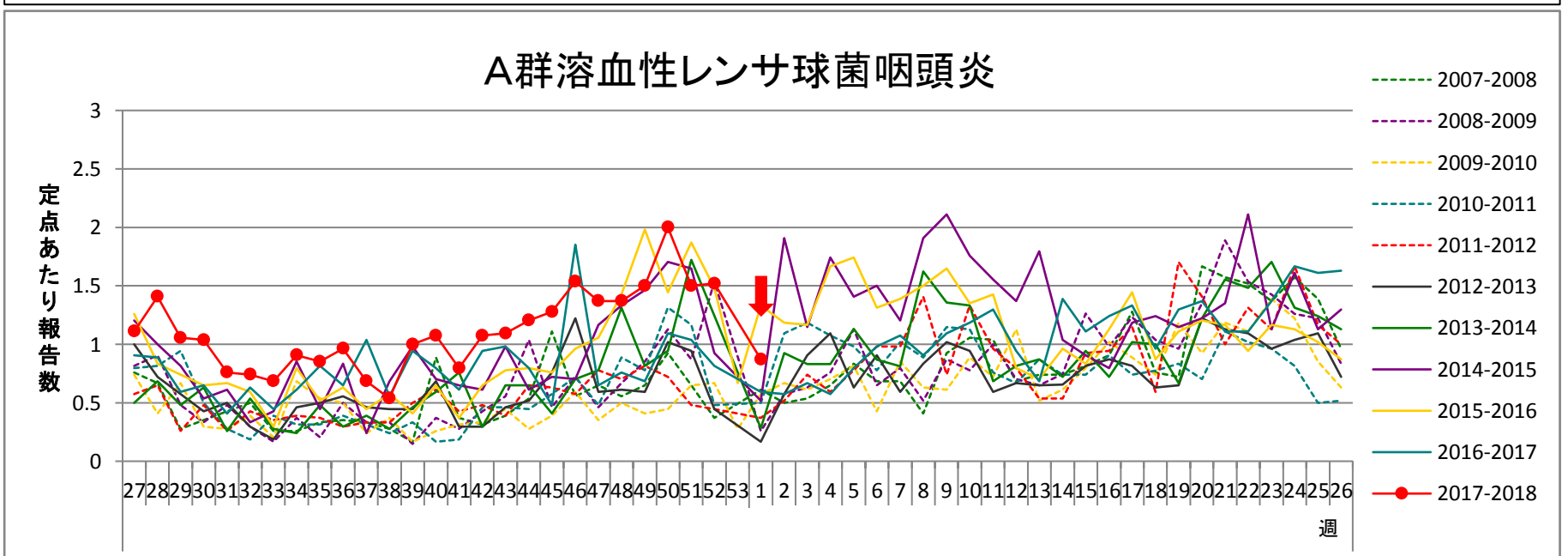
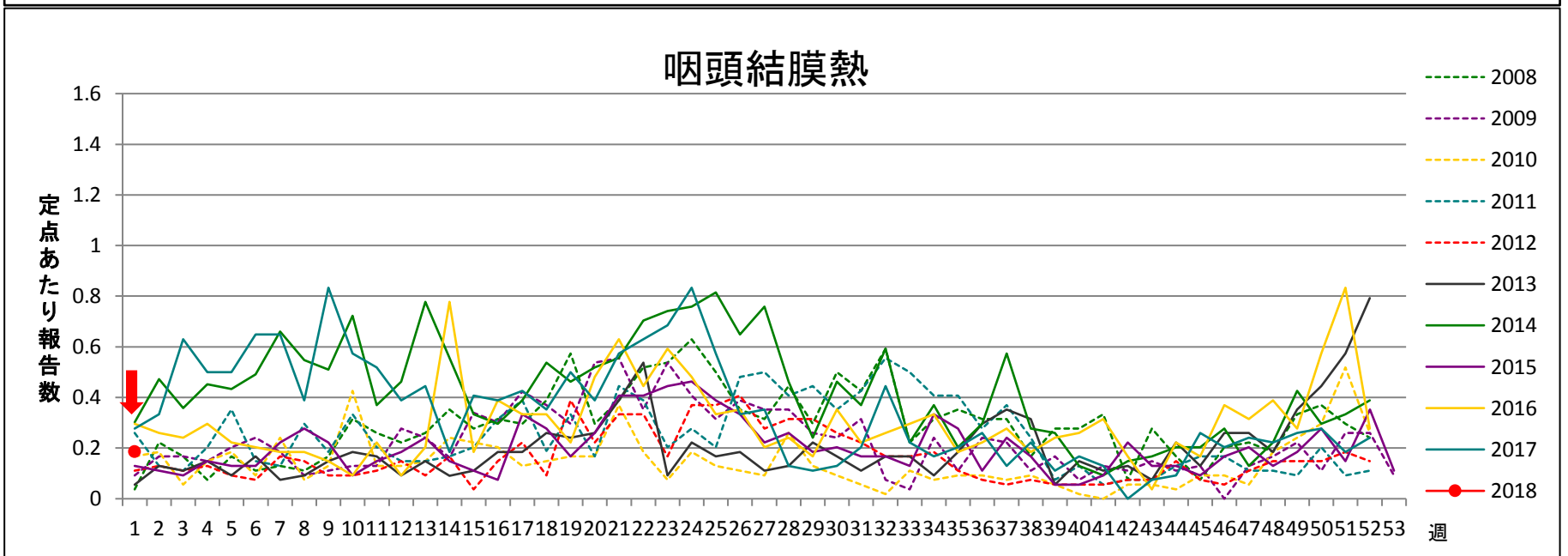
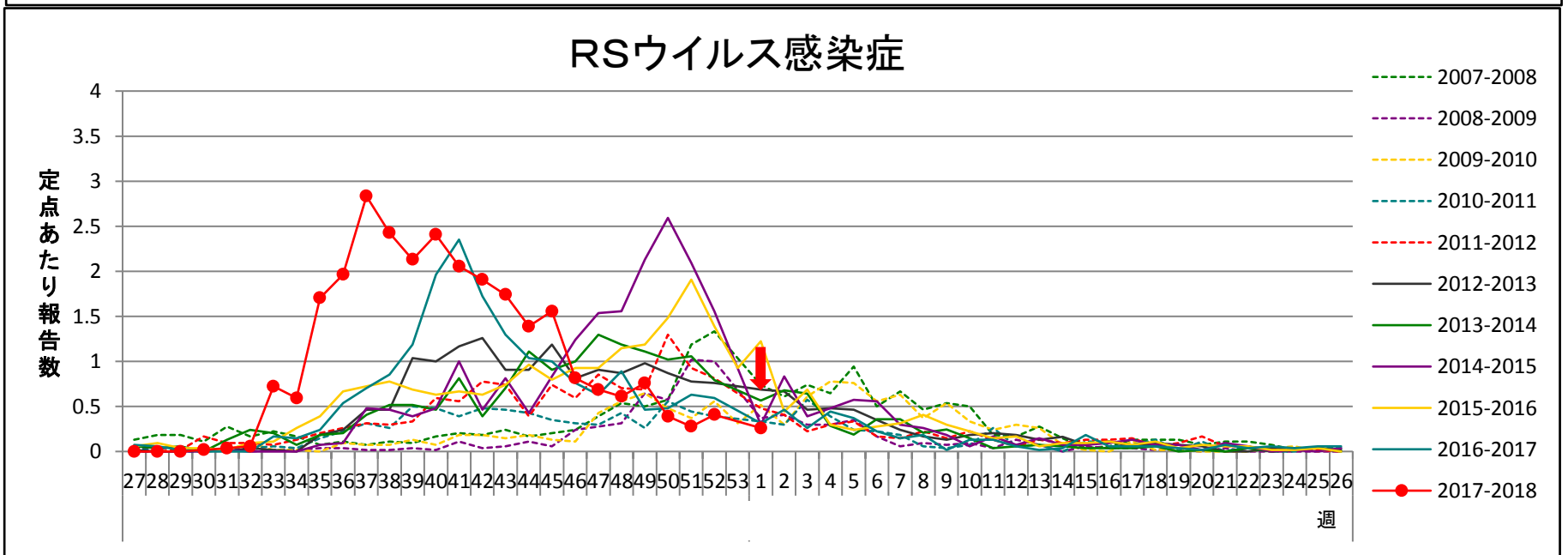
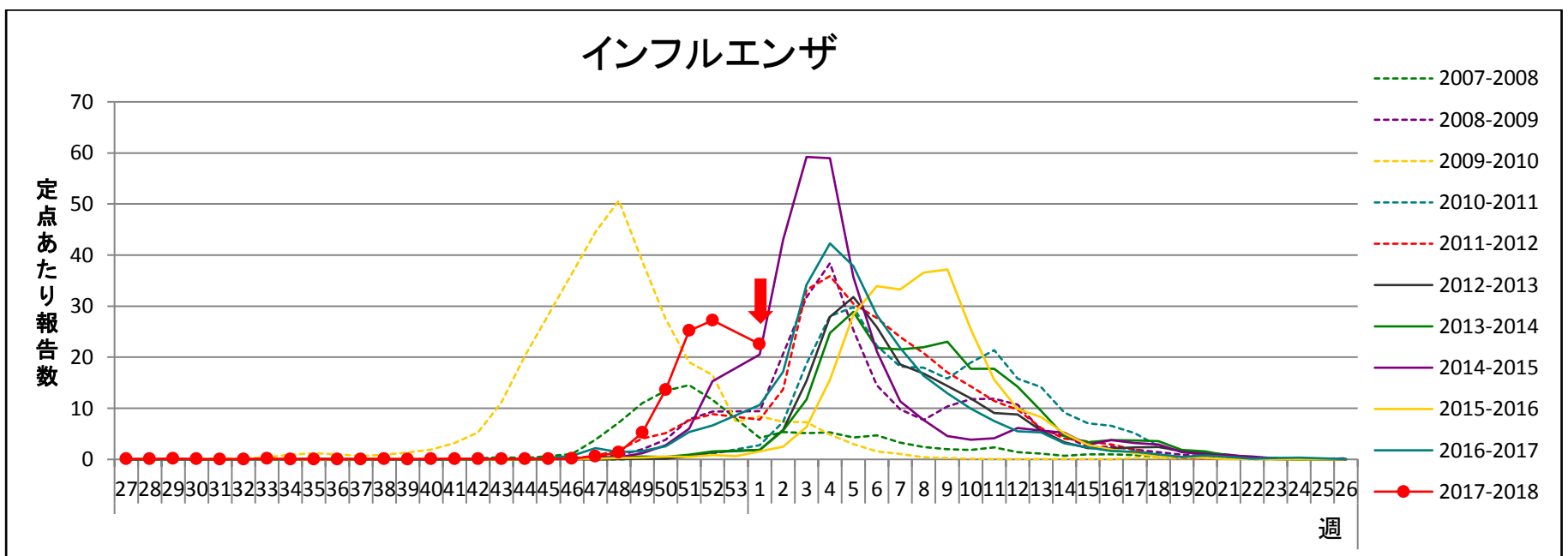
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

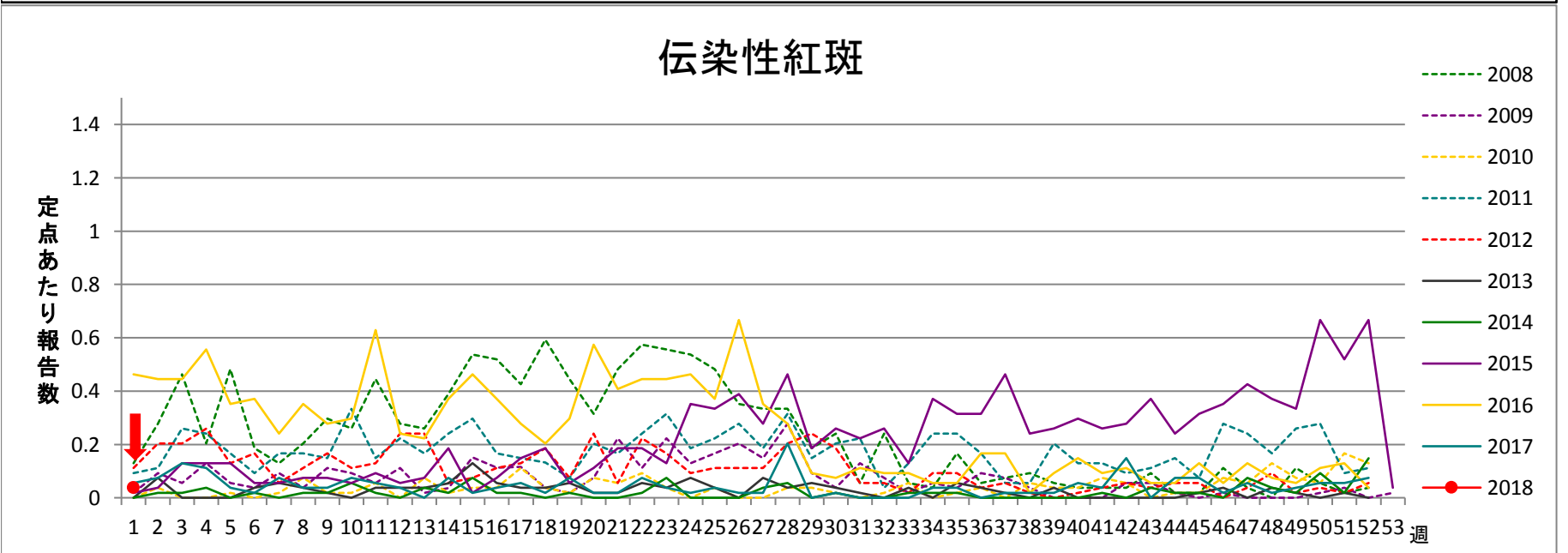
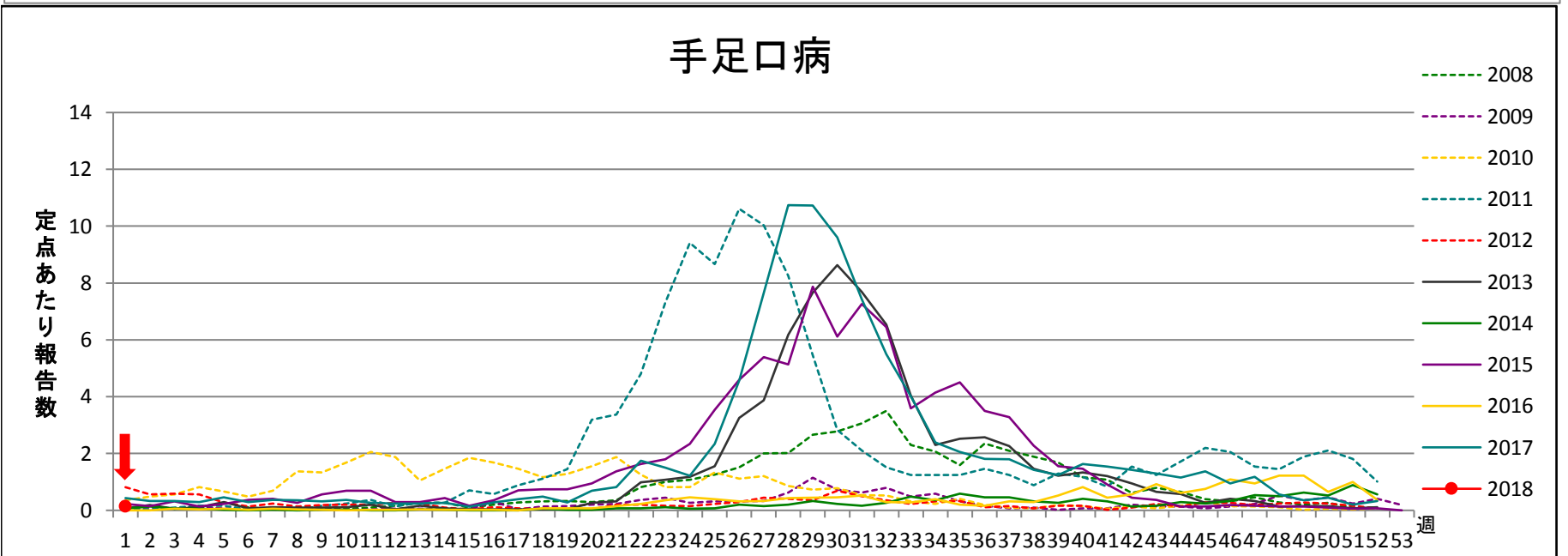
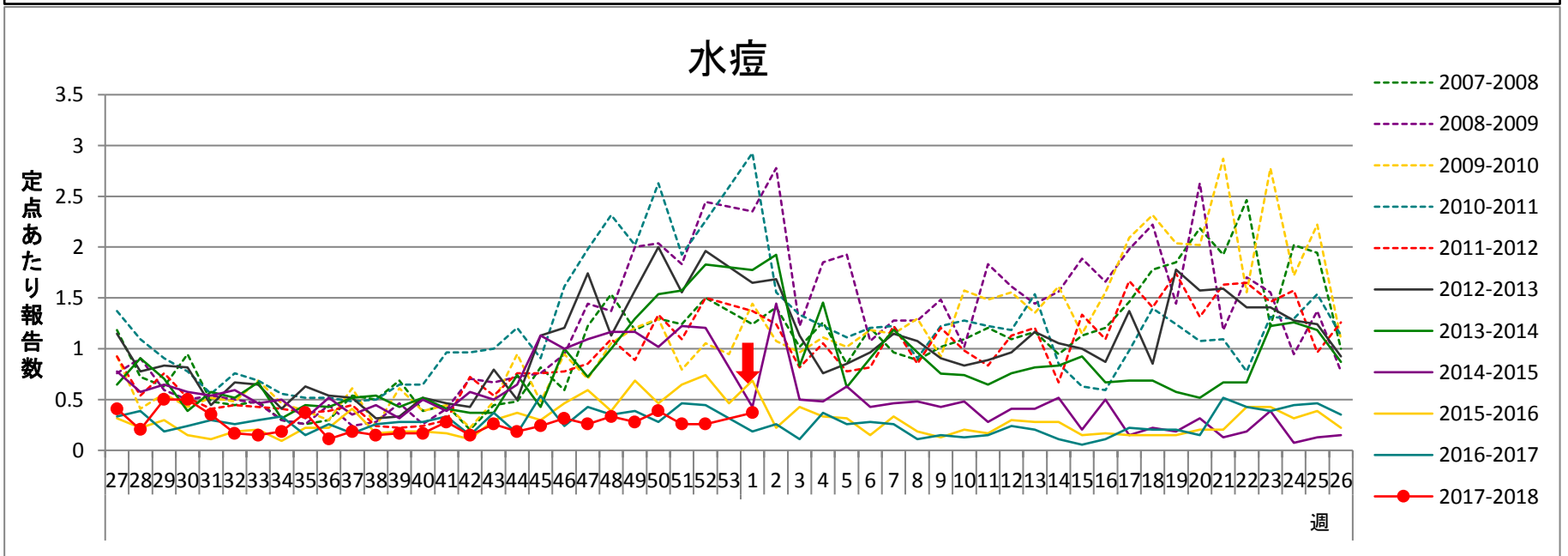
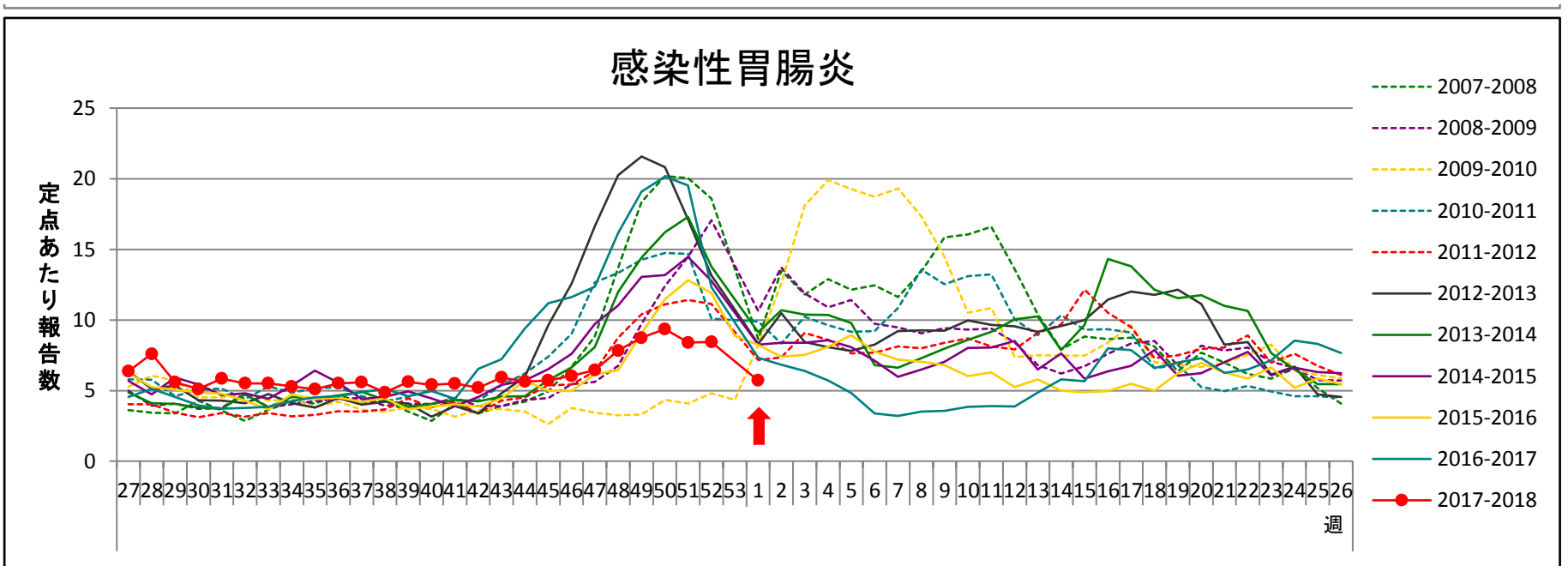
# 全数把握 感染症患者発生状況

2018年 1週

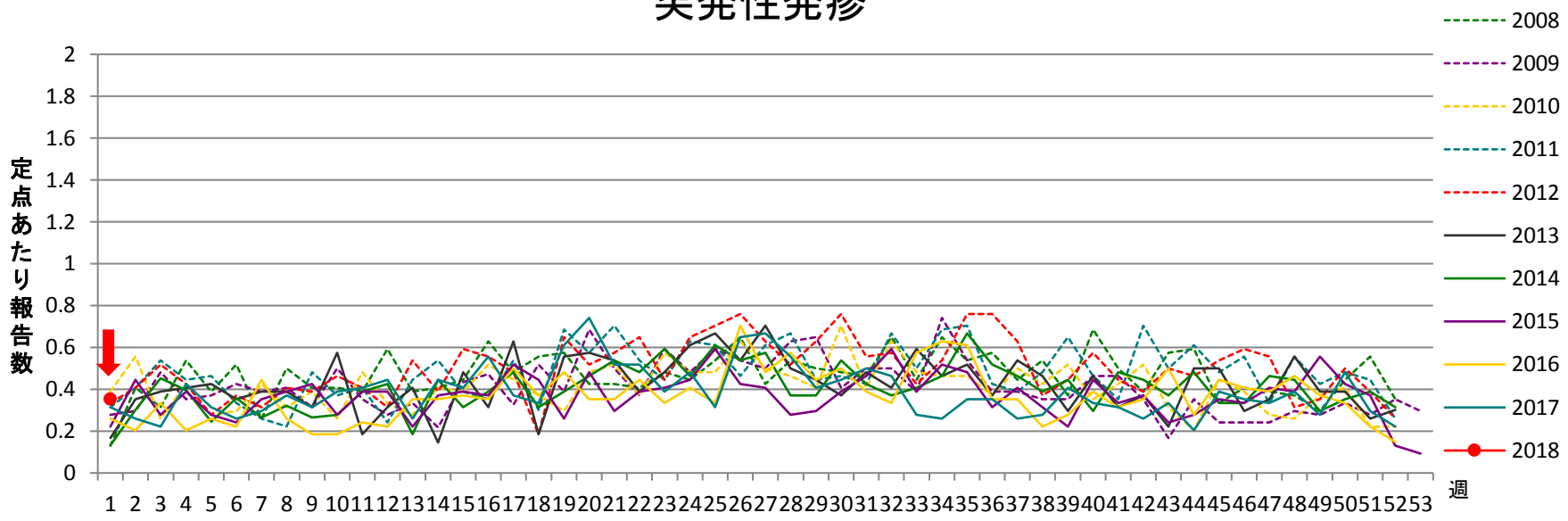
分類	疾病名	2018			疾病名	2018			疾病名	2018		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-								
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	2	358	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-								
三類	コレラ	-	-	2	細菌性赤痢	-	-	3	腸管出血性大腸菌感染症	-	-	70
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-				
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	5
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	1
	デング熱	-	-	2	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	7
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	1	30
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-				
五類	アメーバ赤痢	-	-	21	ウイルス性肝炎	-	-	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	1	1	17
	急性脳炎	-	-	8	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	8	後天性免疫不全症候群	-	-	21	ジアルジア症	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	36
	水痘(入院例に限る。)	-	-	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	-	169
	播種性クリプトコックス症	-	-	1	破傷風	-	-	-	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	7	百日咳	-	-	-	風しん	-	-	-
	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-				



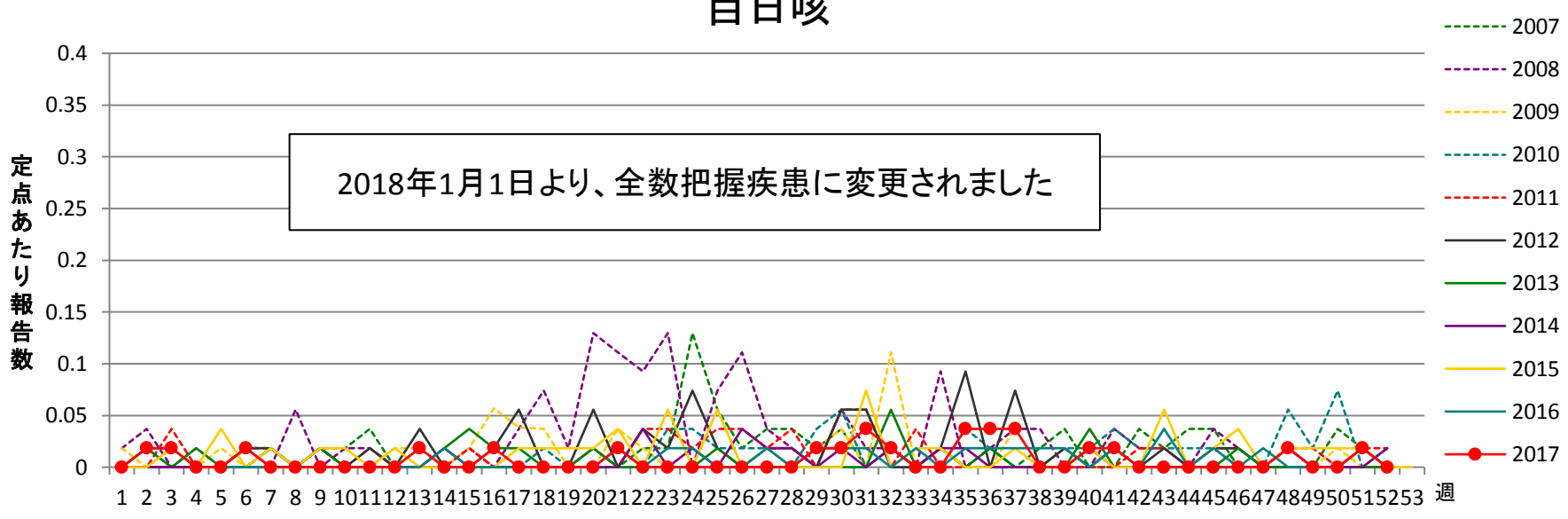




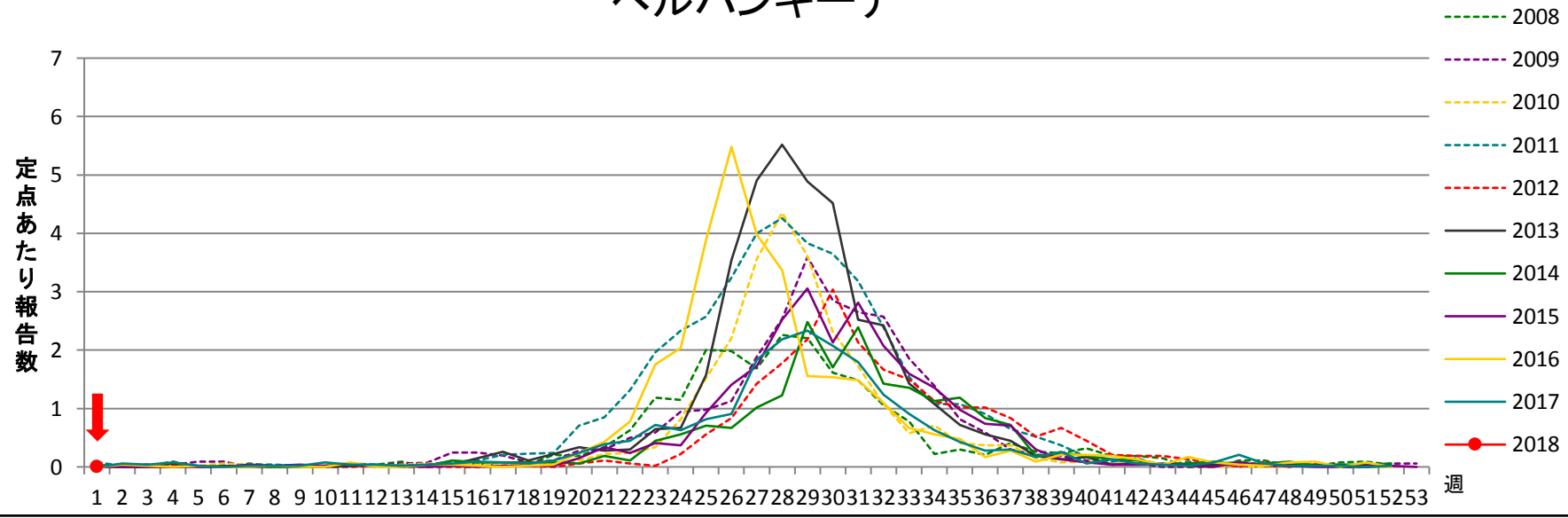
### 突発性発疹



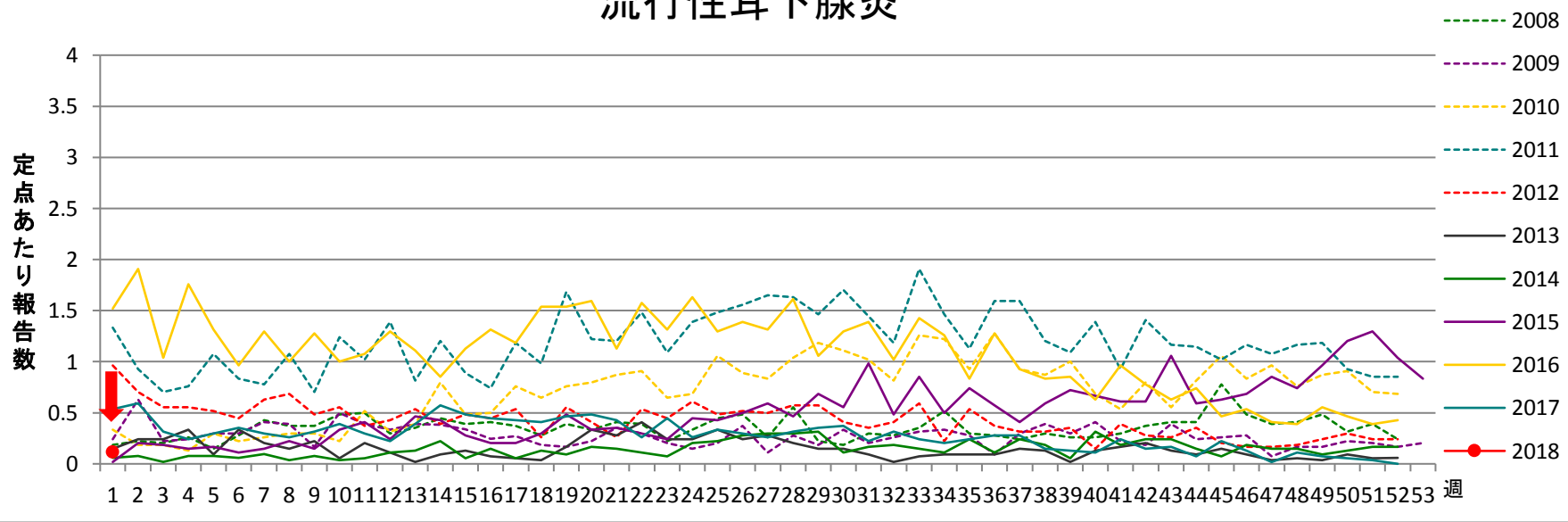
### 百日咳



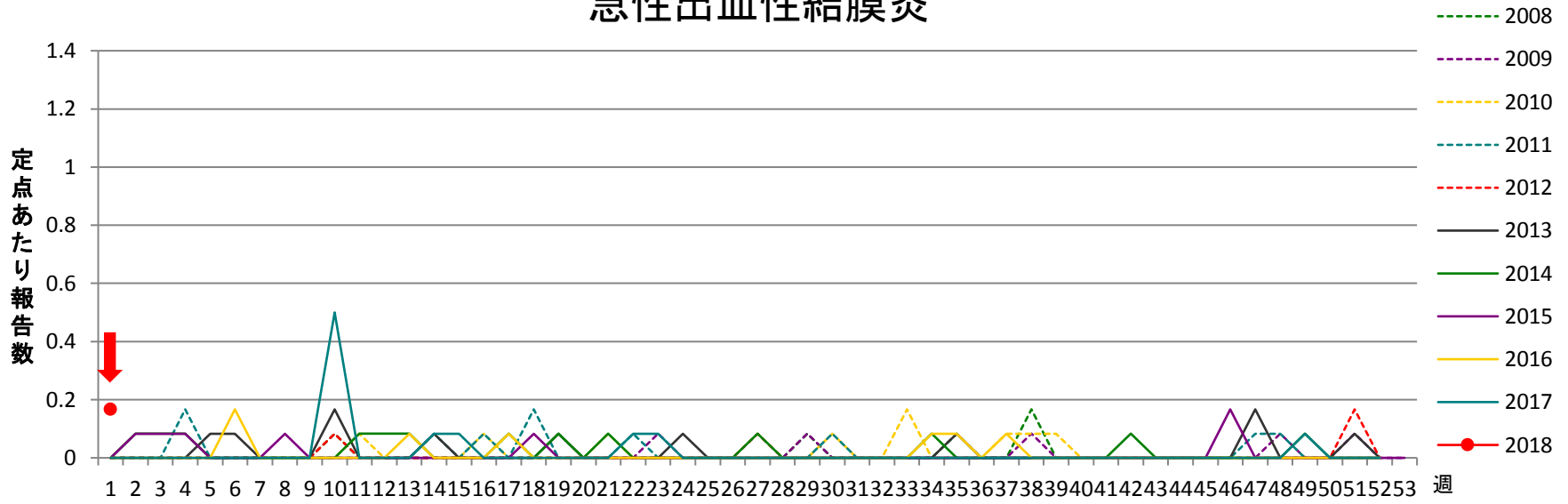
### ヘルパンギーナ



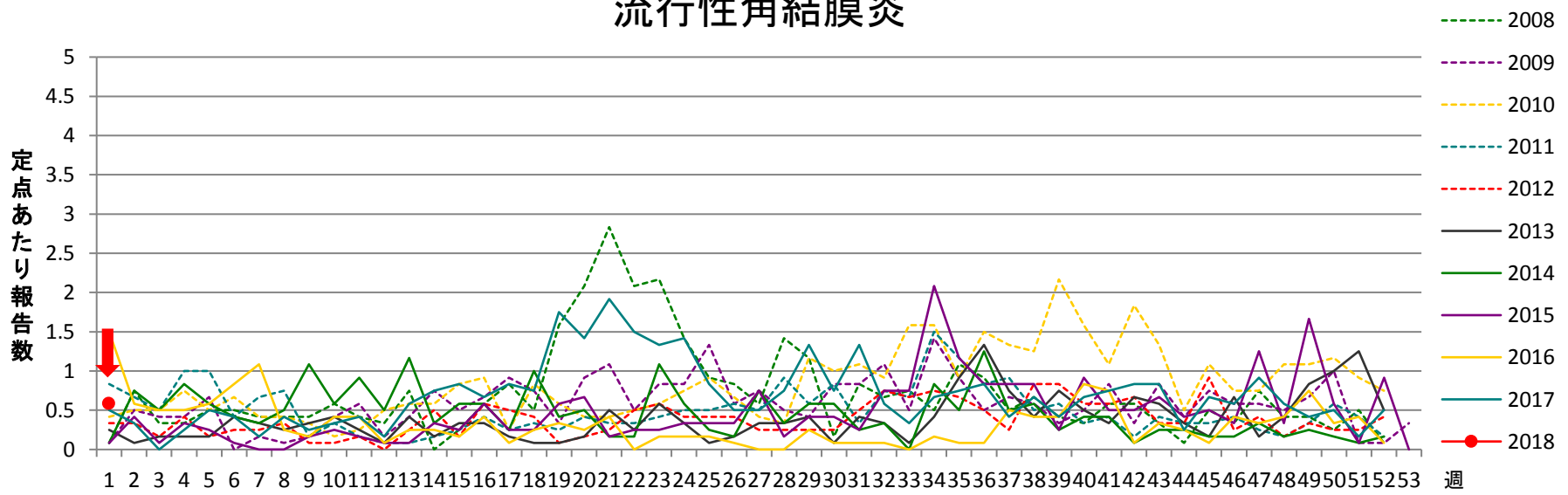
### 流行性耳下腺炎



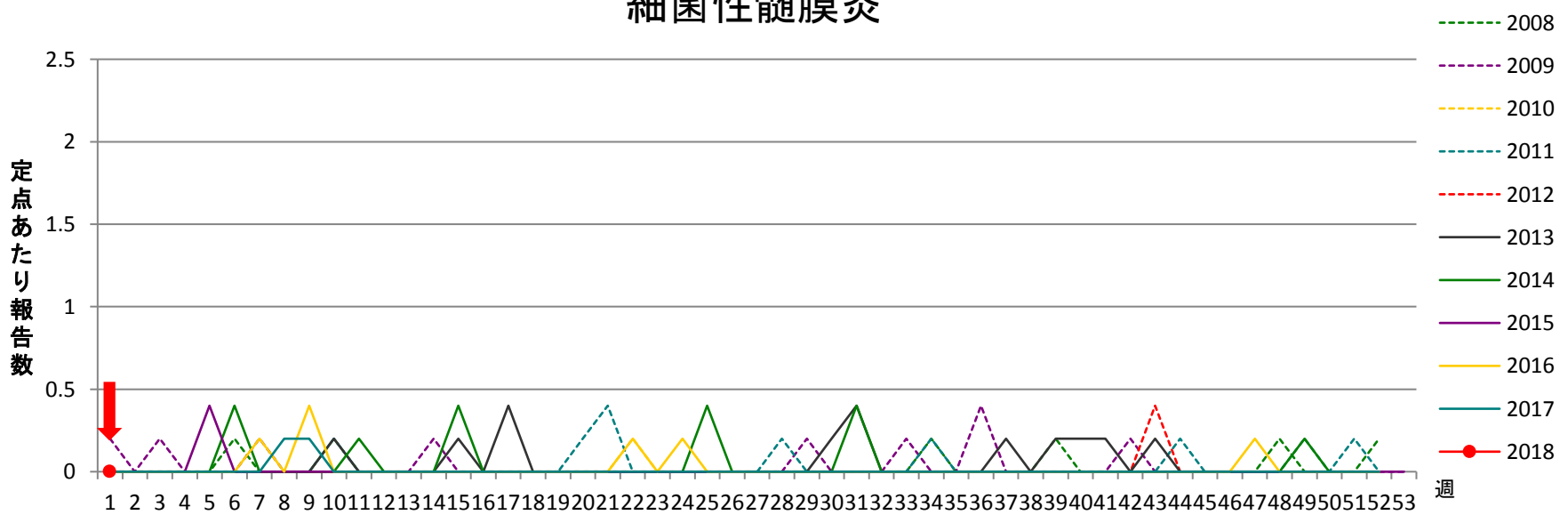
### 急性出血性結膜炎



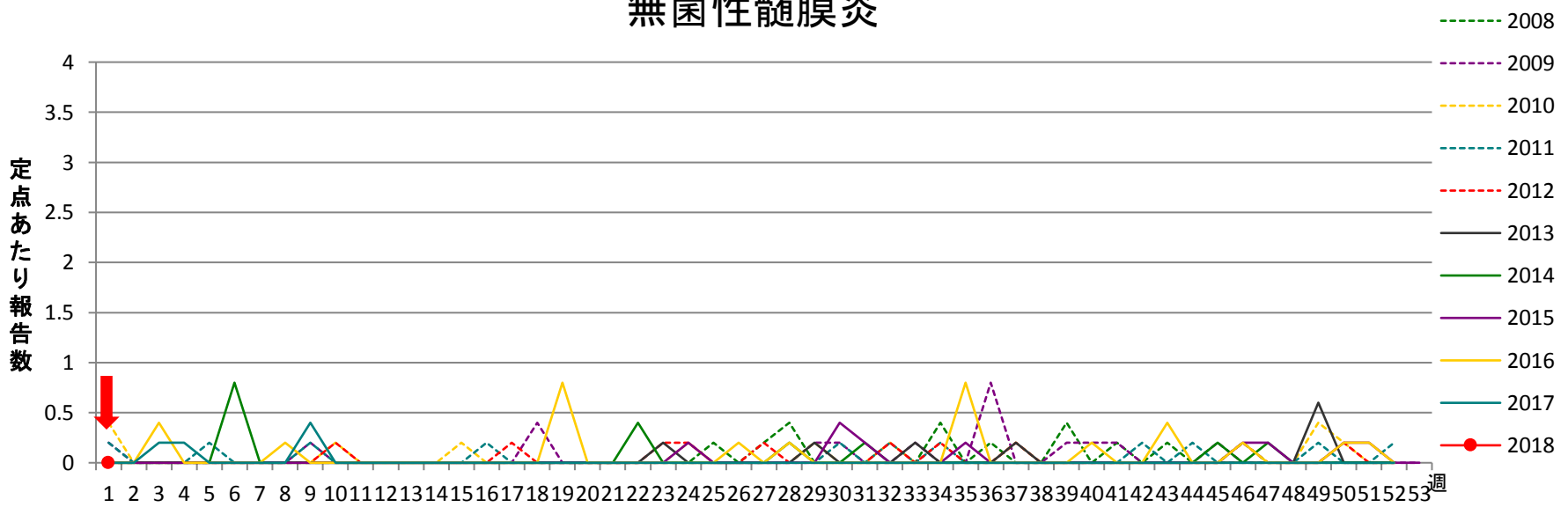
### 流行性角結膜炎



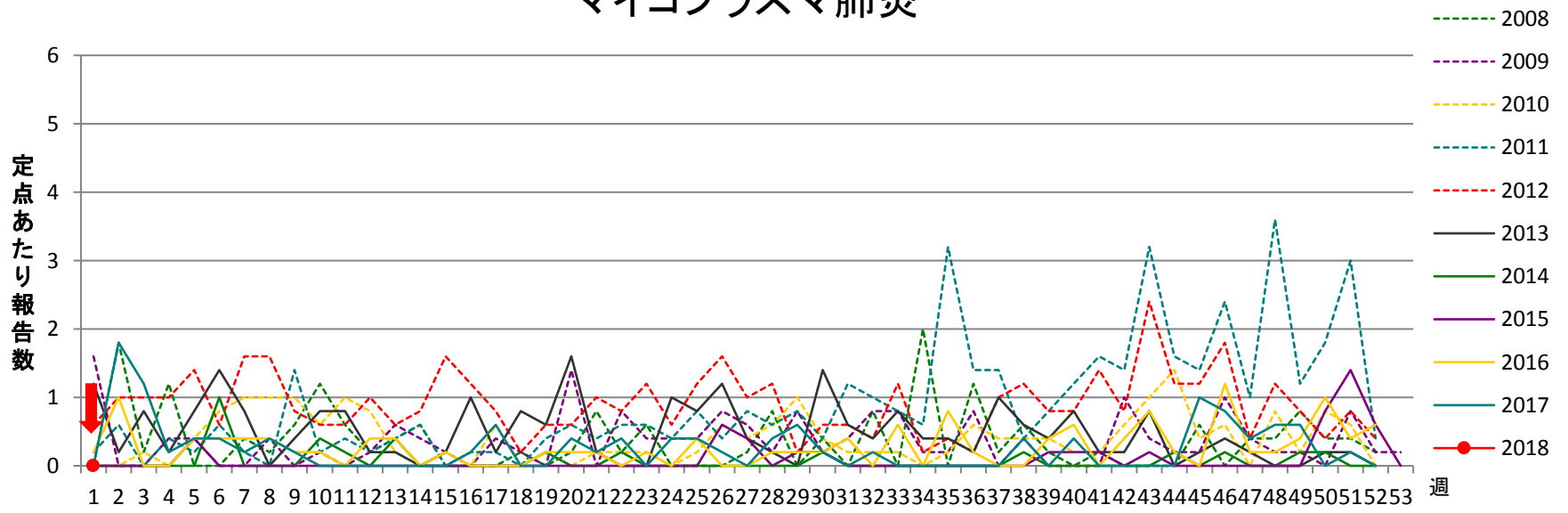
### 細菌性髄膜炎



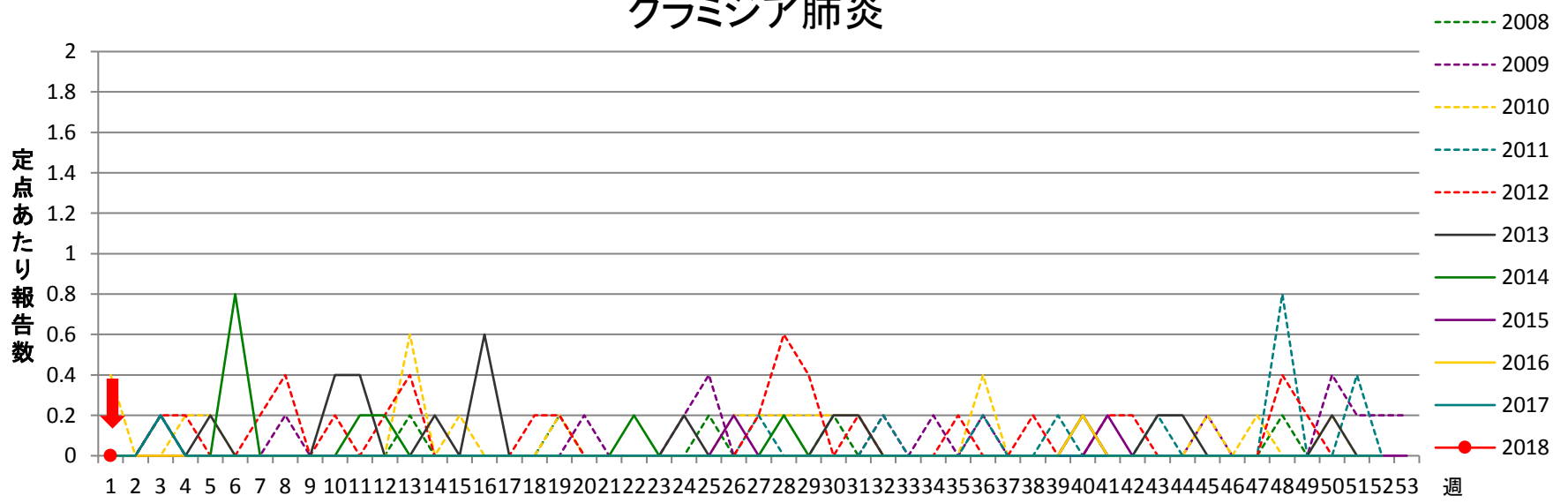
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

